

東京外国語大学大学院総合国際学研究科 研究指導計画

世界言語社会専攻 言語文化コース

【博士前期課程】

学 年	学 期	研究内容及び指導方法等
1 年 次	春 ・ 夏	<p>1. オリエンテーションで履修・研究スケジュールについてガイダンスを受ける。 主任指導教員を決定し、春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。</p> <p>2. 主任指導教員と相談のうえで、研究テーマおよび副指導教員を決定し、研究題目届を提出する。(5月上旬)</p> <p>3. 専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。</p> <p>4. 主任指導教員のもとで先行研究を整理しつつ、研究テーマに応じて研究方法を検討し、研究計画書を精緻化する。</p> <p>◇ 「総合国際学研究基礎」を1科目履修し、研究倫理の基本や研究活動を行うための基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>◇ 「学術言語演習」(自らの研究に密接に関わる母語以外の1つの言語)を履修し、研究遂行に必要な学術的言語運用力を高める。</p>
	秋 ・ 冬	<p>1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。</p> <p>2. 主任指導教員のもとで研究目的や研究の問いをより具体化し、調査方法や研究データの収集方法を決定する。必要に応じて、予備調査を実施する。</p> <p>◇ 「異分野交流ゼミ」を履修し、自身の研究課題や関連する研究の諸領域が社会的ニーズにどのように応え得るか考察する。</p> <p>◇ 「学術言語演習」(春学期と同一の言語)を履修し、研究遂行に必要な学術的言語運用力をさらに高める。</p> <p>◇ 英語教育学ないし日英通訳・翻訳を専門とする者は、引き続き「総合国際学研究基礎」1科目を履修し、当該分野の研究・実践に求められるリサーチ・デザインやプレ</p>

		ゼンテーション能力を養う。
2 年 次	春 ・ 夏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。 2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識を深める。 3. 指導教員やゼミ生と議論を重ねながら研究を遂行し、修士論文（または修士研究）の執筆に着手する。 <p>◇ 「修士論文修士研究ゼミ」履修し、研究を遂行する。</p>
	秋 ・ 冬	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。 2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識を深める。 3. 主任指導教員の承認を得たうえで、修士論文等題目届を提出する。（10月上旬） 4. 主任指導教員やゼミ生と議論を重ねながら、修士論文（または修士研究）の執筆を進める。 5. 修士論文（または修士研究）を完成させ、「学位（修士）申請書」及び「修士論文等届」とともに提出する。（12月下旬～1月上旬） 6. 修士論文等審査委員会による修士論文（または修士研究）の最終審査（最終口述試験）を受ける。（2月上旬）合格した場合、学位が授与される。（3月下旬） <p>◇ 「修士論文修士研究ゼミ」を履修し、修士論文（または修士研究）を完成する。</p>

東京外国語大学大学院総合国際学研究科 研究指導計画

世界言語社会専攻 国際社会コース

【博士前期課程】

学 年	学 期	研究内容及び指導方法等
1 年 次	春 ・ 夏	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションで履修・研究スケジュールについてガイダンスを受ける。 主任指導教員を決定し、春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。 2. 主任指導教員と相談のうえで、研究テーマおよび副指導教員を決定し、研究題目届を提出する。(5月上旬) 3. 専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。 4. 主任指導教員のもとで先行研究を整理しつつ、研究テーマに応じて研究方法を検討し、研究計画書を精緻化する。 <p>◇ 「総合国際学研究基礎」を1科目履修し、研究倫理の基本や研究活動を行うための基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>◇ 「学術言語演習」(自らの研究に密接に関わる母語以外の1つの言語)を履修し、研究遂行に必要な学術的言語運用力を高める。</p>
	秋 ・ 冬	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。 2. 主任指導教員のもとで研究目的や研究の問いをより具体化し、調査方法や研究データの収集方法を決定する。必要に応じて、予備調査を実施する。 <p>◇ 「異分野交流ゼミ」を履修し、自身の研究課題や関連する研究の諸領域が社会的ニーズにどのように応え得るか考察する。</p> <p>◇ 「学術言語演習」(春学期と同一の言語)を履修し、研究遂行に必要な学術的言語運用力をさらに高める。</p>
2 年	春 ・	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。 2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識

次	夏	<p>を深める。</p> <p>3. 指導教員やゼミ生と議論を重ねながら研究を遂行し、修士論文（または修士研究）の執筆に着手する。</p> <p>☆ 「修士論文修士研究ゼミ」履修し、研究を遂行する。</p>
	秋・冬	<p>1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。</p> <p>2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識を深める。</p> <p>3. 主任指導教員の承認を得たうえで、修士論文等題目届を提出する。（10月上旬）</p> <p>4. 主任指導教員やゼミ生と議論を重ねながら、修士論文（または修士研究）の執筆を進める。</p> <p>5. 修士論文（または修士研究）を完成させ、「学位（修士）申請書」及び「修士論文等届」とともに提出する。（12月下旬～1月上旬）</p> <p>6. 修士論文等審査委員会による修士論文（または修士研究）の最終審査（最終口述試験）を受ける。（2月上旬）合格した場合、学位が授与される。（3月下旬）</p> <p>☆ 「修士論文修士研究ゼミ」を履修し、修士論文（または修士研究）を完成する。</p>

東京外国語大学大学院総合国際学研究科 研究指導計画

世界言語社会専攻 PCS コース

【博士前期課程】

学 年	学 期	研究内容及び指導方法等
1 年 次	秋 ・ 冬	<p>1. オリエンテーションで履修・研究スケジュールについてガイダンスを受ける。 主任指導教員を決定し、秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。</p> <p>2. 主任指導教員と相談のうえで、研究テーマおよび副指導教員を決定し、研究題目届を提出する。(10月上旬)</p> <p>3. 専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。</p> <p>4. 主任指導教員のもとで先行研究を整理しつつ、研究テーマに応じて研究方法を検討し、研究計画書を精緻化する。</p> <p>◇ 「総合国際学研究基礎」を1科目履修し、研究倫理の基本や研究活動を行うための基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>◇ 「PCS Research Methodology」を履修し、当該研究分野の基礎的な知識や方法論を学ぶ。</p>
	春 ・ 夏	<p>1. 主任指導教員と春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。</p> <p>2. 主任指導教員のもとで研究目的や研究の問いをより具体化し、調査方法や研究データの収集方法を決定する。必要に応じて、予備調査を実施する。</p> <p>◇ 「異分野交流ゼミ」を履修し、自身の研究課題や関連する研究の諸領域が社会的ニーズにどのように応え得るか考察する。</p> <p>◇ 「PCS Research Methodology」を履修し、引き続き当該研究分野の基礎的な知識や方法論を学ぶ。</p>
2 年	秋 ・	<p>1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。</p> <p>2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識</p>

次	冬	<p>を深める。</p> <p>3. 指導教員やゼミ生と議論を重ねながら研究を遂行し、修士論文（または修士研究）の執筆に着手する。</p> <p>☆ 「修士論文修士研究ゼミ」履修し、研究を遂行する。</p>
	春・夏	<p>1. 主任指導教員と春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。</p> <p>2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識を深める。</p> <p>3. 主任指導教員の承認を得たうえで、修士論文等題目届を提出する。（5月）</p> <p>4. 主任指導教員やゼミ生と議論を重ねながら、修士論文（または修士研究）の執筆を進める。</p> <p>5. 修士論文（または修士研究）を完成させ、「学位（修士）申請書」及び「修士論文等届」とともに提出する。（7月上旬）</p> <p>6. 修士論文等審査委員会による修士論文（または修士研究）の最終審査（最終口述試験）を受ける。（7月中旬）合格した場合、学位が授与される。（9月下旬）</p> <p>☆ 「修士論文修士研究ゼミ」を履修し、修士論文（または修士研究）を完成する。</p>

東京外国語大学大学院総合国際学研究科 研究指導計画

国際日本専攻 国際日本コース

【博士前期課程】

学 年	学 期	研究内容及び指導方法等
1 年 次	春 ・ 夏	<p>1. オリエンテーションで履修・研究スケジュールについてガイダンスを受ける。 主任指導教員を決定し、春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。</p> <p>2. 主任指導教員と相談のうえで、研究テーマおよび副指導教員を決定し、研究題目届を提出する。(5月上旬)</p> <p>3. 専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。</p> <p>4. 主任指導教員のもとで先行研究を整理しつつ、研究テーマに応じて研究方法を検討し、研究計画書を精緻化する。</p> <p>◇ 「総合国際学研究基礎」(春・秋に開講される科目のうち、1科目以上)を履修し、研究倫理の基本や研究活動を行うための基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>◇ 学術的な日本語力を向上させたい場合は「発信日本語演習」、英語力を向上させたい場合は「発信英語演習」を履修し、研究発表や論文執筆に必要な語学力を養う。</p>
	秋 ・ 冬	<p>1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。</p> <p>2. 主任指導教員のもとで研究目的や研究の問いをより具体化し、調査方法や研究データの収集方法を決定する。必要に応じて、予備調査を実施する。</p> <p>◇ 「総合国際学研究基礎」(春・秋に開講される科目のうち、1科目以上)を履修し、研究倫理の基本や研究活動を行うための基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>◇ 「異分野交流ゼミ」を履修し、自身の研究課題や関連する研究の諸領域が社会的ニーズにどのように応え得るか考察する。</p> <p>◇ 学術的な日本語力を向上させたい場合は「発信日本語演習」、英語力を向上させたい場合は「発信英語演習」を履修し、研究発表や論文執筆に必要な語学力を養う。</p>

2 年 次	春 ・ 夏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。 2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識を深める。 3. 指導教員やゼミ生と議論を重ねながら研究を遂行し、修士論文（または修士研究）の執筆に着手する。 <p>◇ 「修士論文修士研究ゼミ」履修し、研究を遂行する。</p>
	秋 ・ 冬	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。 2. 必要に応じて、専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における知識を深める。 3. 主任指導教員の承認を得たうえで、修士論文等題目届を提出する。（10月上旬） 4. 主任指導教員やゼミ生と議論を重ねながら、修士論文（または修士研究）の執筆を進める。 5. 修士論文（または修士研究）を完成させ、「学位（修士）申請書」及び「修士論文等届」とともに提出する。（12月下旬～1月上旬） 6. 修士論文等審査委員会による修士論文（または修士研究）の最終審査（最終口述試験）を受ける。（2月上旬）合格した場合、学位が授与される。（3月下旬） <p>◇ 「修士論文修士研究ゼミ」を履修し、修士論文（または修士研究）を完成する。</p>

東京外国語大学大学院総合国際学研究科 研究指導計画

国際日本専攻 日本語教育リカレントコース

【博士前期課程】

学 年	学 期	研究内容及び指導方法等
入学前	夏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学手続き後、研究テーマに応じて、主任指導教員および副指導教員が決まる。 (8月) 2. オリエンテーションで履修・研究スケジュールについてガイダンスを受ける。 (9月)
1 年 次	秋 ・ 冬	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と秋・冬学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。 2. 主任指導教員と相談のうえで、研究題目届を提出する。(10月上旬) 3. 主任指導教員のもとで先行研究を整理しつつ、研究テーマに応じて研究方法を検討し、研究計画書を精緻化する。 4. 修士論文等予定題目および研究計画書を専攻長に提出する。(11月下旬) 5. 主任指導教員やゼミ生と議論を重ねながら、修士論文（または修士研究）の執筆を進める。研究テーマに応じて、データ収集計画を具体化し、データ収集を行う。必要に応じて、予備調査を実施する。 <p>◇ 「修士論文修士研究ゼミ」を履修し、研究を遂行する。</p> <p>◇ 学術的な日本語力を向上させたい場合は「発信日本語演習」、英語力を向上させたい場合は「発信英語演習」を履修し、研究発表や論文執筆に必要な語学力を養う。</p>
	春 ・ 夏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主任指導教員と春・夏学期に履修する授業科目を相談したうえで、履修登録をする。専攻科目や関連科目の履修を通して、自身の専門分野における基盤的知識の修得を目指す。 2. 主任指導教員やゼミ生と議論を重ねながら、修士論文（または修士研究）の執筆を進める。 3. 主任指導教員と相談のうえで、修士論文等題目届を提出する。(5月下旬)

	<p>4. 修士論文（または修士研究）を完成させ、「学位（修士）申請書」及び「修士論文等届」とともに提出する。（7月中旬）</p> <p>5. 修士論文等審査委員会による修士論文（または修士研究）の最終審査（最終口述試験）を受ける。（8月上旬）合格した場合、学位が授与される。（9月下旬）</p> <p>◇ 「修士論文修士研究ゼミ」を履修し、修士論文（または修士研究）を完成する。</p> <p>◇ 学術的な日本語力を向上させたい場合は「発信日本語演習」、英語力を向上させたい場合は「発信英語演習」を履修し、研究発表や論文執筆に必要な語学力を養う。</p>
--	--